

# こくりこ日記

高田昭子のb2evolution blogです

## アーカイブ: 2009年12月

**2009/12/31**

□ 00:19:17, カテゴリ: [詩の歳時記](#), views: 1205 

詩の歳時記—365 「初夢」



初夢のなかをどんなに走ったやら

飯島晴子

夜更けに目覚めた  
実像と虚像とが交錯する時間  
なにを追っていたのか  
それとも逃げようとしていたのか  
孤島にも似ているベッドで…

[6コメント](#) • [編集](#)

[こくりこ日記](#)

高田昭子のb2evolution blog  
[吸殻山383番地の家に戻る。](#)  
[中央1番地に戻る。](#)

- [最新 \(キャッシュ\)](#)
- [最新 \(キャッシュされない\)](#)

2009年12月

日	月	火	水	木
		1	2	3
6	7	<u>8</u>	9	<u>10</u>
13	<u>14</u>	15	<u>16</u>	17
20	<u>21</u>	22	23	24
27	28	<u>29</u>	30	<u>31</u>

<< <

- [最近のコメント](#)

## Heavy Hitters

- [Test \(20 visits\)](#)
- [詩の歳時記—117 \(19 visits\)](#)
- [詩の歳時記—82 \(19 visits\)](#)
- [詩の歳時記—56 \(19 visits\)](#)
- [花守 \(19 visits\)](#)
- [Walking1日目。 \(18 visits\)](#)
- [引用文—23・あきらめ](#)
- [詩の歳時記—274 「あ visits\)](#)
- [詩の歳時記—253 「桜 visits\)](#)
- [詩の歳時記—123 「桜](#)
- [ペルジーノ展 \(18 visits\)](#)
- [かぼちゃな一日 \(18 visits\)](#)

## 検索

**2009/12/29**

□ 01:39:02, カテゴリ: [詩の歳時記](#), views: 937 

詩の歳時記—364 「初曆」



初曆知らぬ月日は美しく 吉屋信子

未知の日々を卓上に置いて  
過ぎた日々の長さを思う  
ひどく不均衡な未知と過去の天秤  
それでも明日は陽が昇るのだろう。  
見えぬものに会釈するだろう。

・編集



## 2009/12/27

□ 14:20:15, カテゴリ: [詩の歳時記](#), views: 1426 [●]

詩の歳時記—363 「大晦日」

### 検索

### カテゴリ

- All
- [百人百詩](#) (100)
- [詩の歳時記](#) (365)
- [詩日記](#) (20)
- [My Haiku](#) (49)
- [Walking](#) (13)
- [引用文](#) (31)
- [日記](#) (163)

### 選択

### アーカイブ

- [2015年11月](#) (1)
- [2015年7月](#) (1)
- [2015年5月](#) (2)
- [2015年3月](#) (3)
- [2015年2月](#) (2)
- [2015年1月](#) (3)
- [2014年12月](#) (2)
- [2014年11月](#) (2)
- [2014年10月](#) (3)
- [2014年9月](#) (2)
- [2014年8月](#) (2)
- [2014年7月](#) (2)
- 続き...

### いろいろ

- [管理](#)
- [プロフィール \(admin\)](#)
- [ログアウト \(admin\)](#)



このブログの配信 [XM](#)

- RSS 0.92: [投稿](#), [コメント](#)
- RSS 1.0: [投稿](#), [コメント](#)
- RSS 2.0: [投稿](#), [コメント](#)
- Atom: [投稿](#), [コメント](#)

[What is RSS?](#)

powered by  
**b2evolution**

長旅の川いま海へ大晦日

相生葉留実

ささやかな仕事を繰り返し  
善良で清潔な日々でした。  
わたくしの川は河口まできました。  
山峰ではいつでも真新しい水がうまれている。  
もういいだろう。 母の海へ還ろう。

[7 コメント](#) • [編集](#)



## 2009/12/21

□ 12:41:55, カテゴリ: [詩の歳時記](#), views: 1016 ●

詩の歳時記—362 「冬の浪」



冬の浪従へるみな冬の浪

山口誓子

こころのあたりに  
繰り返し繰り返し  
こごるような水輪が拡がる時がある  
海も空も季節も  
ひとの内部にはあるらしい

• [編集](#)



## 2009/12/18

□ 13:01:13, カテゴリ: [詩の歳時記](#), views: 834 | [•](#)

詩の歳時記—361 「日記買ふ」



日記買ふ未知の月日に在るごとく

中村秀好

カールじいさんは  
ヘリウムガス入りの無数の風船をつけて  
空飛ぶ家で冒険したのよ  
いつでも旅に出る理由がある  
あこがれは楽しく苦しい

<http://www.disney.co.jp/movies/carl-gsan/index.html>

• [編集](#)



## 2009/12/16

01:51:13, カテゴリ: [詩の歳時記](#), views: 754 

詩の歳時記—360 「枯野」



標的となるかもしけぬ枯野行く

小嶋洋子

自分で見ることのできない  
枯野を歩いているわたくしの背中  
あなたには見えるでしょう  
撃ってみなさい  
逃げも隠れもしないから。

[4 コメント](#) • [編集](#)



## 2009/12/14

22:49:42, カテゴリ: [詩の歳時記](#), views: 650 

詩の歳時記—359 「冬眠」



冬眠すわれら千の眼を売り払い

中谷寛章

星の数にも及ばぬ  
二千個をたたき売って  
君と冬眠しようよ  
ぬくい体温を寄せあって  
ひたすら眠ろうよ

・編集



## 2009/12/11

15:31:46, カテゴリ: [詩の歳時記](#), views: 695

詩の歳時記—358 「ひと逝きて」



ひと逝きて枯れぬひまわり天に咲く

高田昭子

ひとりのをどこが逝った  
しあわせな生涯だったと  
をなんには言わないままに。  
冬の天空にひまわりの群生  
そのひかりがをなんには見える。

• [編集](#)



## 2009/12/10

□ 02:12:48, カテゴリ: [詩の歳時記](#), views: 753

詩の歳時記—357 「雪の夜」



雪の夜や体重計という孤島

柴田千晶

夜は青い海のような闇  
深夜を告げる時計の音  
わずかに滴を落としているからだ  
孤島で計るいのちの重さ  
あるいは満ちてくる潮の……

[2コメント](#) • [編集](#)



## 2009/12/08

□ 16:19:54, カテゴリ: [詩の歳時記](#), views: 648

詩の歳時記—356 「水湧」



水涙や鼻の先だけ暮れ残る

芥川龍之介

死んだ友がいる  
わたくしもいすれ死者となる  
今はただ  
暮れ残る冬空の下  
クシャミをしているだけだが……

・編集



## 2009/12/05

22:18:29, カテゴリ: [詩の歳時記](#), views: 749

詩の歳時記—355 「冬の夜空」



枕には冬の夜空をつめて寝る

野村秋介

冬の夜

石の部屋で眠る男の枕には  
冬空の星々がひしめいているのだった  
かすかな温もり  
耳のなかの音楽

[2コメント](#) • [編集](#)



## 2009/12/03

□ 21:34:19, カテゴリ: [詩の歳時記](#), views: 618

詩の歳時記—354 「枯菊」



枯菊や日々に覚めゆく憤り

萩原朔太郎

覚めてゆくものがある  
愛 憤り 思い出  
似ているようで似ていない  
本当に覚めてゆくものはなにか?  
君にわかるわけがないだろう?

•編集



## 2009/12/02

01:44:51, カテゴリ: [詩の歳時記](#), views: 735

詩の歳時記—353 「冬浅し」



冬浅し八幡宮の大をとこ

高田昭子

江戸の大関 明治の横綱  
大をとこの称号  
背丈 手足の大きさ 大盛のめし  
小女は六分 大女は八分  
二度のめしは手前にて…

<http://www.tomiokahachimangu.or.jp/htmls/sumou.html>

• 編集



---

Original template design by François PLANQUE.

